



血統の足は、最新のエンジンで解き放たれた。NEWカーリーナ登場。

NEW CARINA



SEDAN

GT●2000-1600DOHC-EFI

SE●1800

ST●1800EFI-1500

SG●1800-1500

DX●1500

STD●1500

COUPE

GT●2000-1600DOHC-EFI

SE●1800EFI

ST●1800EFI-1500

SG●1800-1500



PHOTO: 本田技研工業株式会社

スポーティのジャンルを突き抜けて、
高らかに「セダン・スポーツ」登場。
全身、運動神経だ。

鍛え上げられたスポーツ・ボデーを見てほしい。

大胆な直線。斬新なテイルカット。

足のいいやつはいま、セダン・スポーツの名のりをあげる。



SEDAN

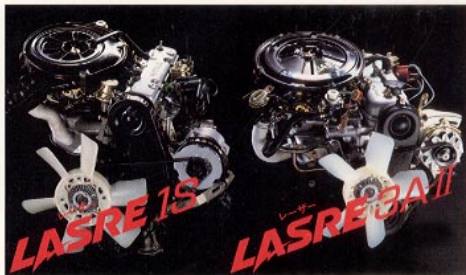
PHOTO: 本田技研工業株式会社 (本誌掲載のイメージはイメージです)

走り、一新。LASRE搭載。

〈レーザー・TOYOTAの新世代エンジンシリーズ〉

軽量・コンパクト。低燃費にしてハイパフォーマンス。
この走り、(新性能)と呼ぶのが正しい。

トヨタが世に問う最新エンジン、 レーザー1S・3A-II搭載。



シャープで爽快な走りを、そんな期待に応えたのがレーザー1Sだ。1832cc・4気筒・OHC。整備重量132kgという軽さに加え、ハイパワー&低燃費。新型キャブレター、ハイスキュー(急勾配の燃焼室、デュアルエキジーストマニホールド)の採用で燃焼・吸排気効率を一気に高め、最高出力105ps/5400r.p.m.最大トルク15.5kg-m/3400r.p.m.10モード燃費13.5km/l(燃費測定値*180)の優れた数値を獲得した。トルク特性はフラットで、高速での伸び、中低速域での粘り強さは秀逸。両期対応のE.E.A.C.V. (エンジンバルブ)を採用した新空燃比制御システム。吸入混合気の空燃比を理論空燃比付近にコントロール。三元触媒との組み合わせで、排出ガスの浄化はもちろん、燃費の向上も促した。ドライブレシテを実現する信頼のシステムだ。

フリーウェイではダイナミックに伸びやかに、街中ではスムーズに小気味よく、そんな走りを身に付けたのがレーザー3A-II。その名のように定評の3Aを基本としたエンジンは、1452cc・4気筒・OHC。最高出力83ps/5600r.p.m.最大トルク12.0kg-m/3600r.p.m.という高出力。トルクカーブはフラットで、中低速域では粘り強く、高速では伸びやかな加速を発揮する。10モード燃費も14.0km/l(15モード*180)という高い数値。さらにカムシャフト駆動の音の静かなタイミングベルトを採用するなど、静粛性への配慮も万全。もちろんレーザー1Sと同様、エレクトロロックスと三元触媒の組み合わせが、燃費と排出ガス浄化に大きな効果を発揮している。いかにも走りのカーリナにふさわしい緻みに鍛え上げられた、高性能エンジンだ。

*LASREは、Light-weight Advanced Super Response Engineの略。

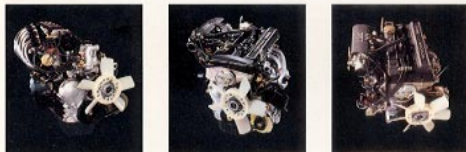
爽快な走りのDOHC・EFIに代表される「ワフルなエンジン群。あなたを熱くするのは、どれか。

3T-EU¹⁶⁰⁰ EFFI 2T-GEU¹⁶⁰⁰ DOHC 18R-GEU²⁰⁰⁰ DOHC

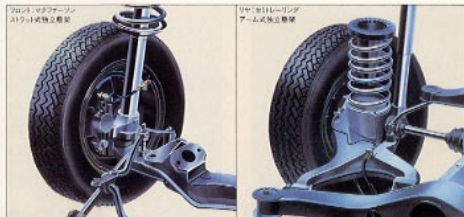
コンピューターが走行状態に応じて燃料供給を最適に制御するEFI(燃料噴射装置)を装着。最高出力105ps/5400r.p.m.最大トルク16.5kg-m/3600r.p.m.のハイパワーな走りを実現する。さらに点火先進角特性の改善、軽快な吹き上がり、粘り強い走りを発揮する。

親しい加速と俊敏なレスポンス。GTならではの強烈なパワーだ。さらに今回、燃焼室を多球形にするともっと燃焼効率を高め、バルブタイミングも変更。低遅トルクの向上に特筆に値する。最高出力115ps/6000r.p.m.最大トルク15.0kg-m/4800r.p.m.の高出力、燃費の良いEFIで実証済み。

最高出力135ps/5800r.p.m.最大トルク17.5kg-m/4800r.p.m.の巨匠的パワー。高回転域での目の覚める加速。例のトルクホジはインジェクタならではの迫力だ。点火時期、点火遅角特性の改良により、燃焼効率も一段と向上。カーリナGTの根拠に立つにふさわしい、ホットなエンジンだ。



定評のフットワークも、 さらに鍛え上げられた。



4輪独立懸架(前駆装置)も加わって、さらに磨きのかかったサスペンション…前輪には実銘のマクファーソンストラット式。後輪には新たにセトローリングアーム式の独立懸架を採用。確実なロードホールドリングで、ラワードやハードなコーナリングでも的確に走り抜ける。もちろん、フットワークを磨いたのは4輪懸架だけではない。ロール剛性と操縦安定性を一段と向上させたワイドフレッド。路面からのショックを軽減させるとともに制動安定性も高め、

最速の4輪独立懸架(前駆装置)も加わって、さらに磨きのかかったサスペンション…前輪には実銘のマクファーソンストラット式。後輪には新たにセトローリングアーム式の独立懸架を採用。確実なロードホールドリングで、ラワードやハードなコーナリングでも的確に走り抜ける。もちろん、フットワークを磨いたのは4輪懸架だけではない。ロール剛性と操縦安定性を一段と向上させたワイドフレッド。路面からのショックを軽減させるとともに制動安定性も高め、



全車スチールラジアルタイヤ…制摩耗性に優れ、コーナリング性能、ブレーキ制動力もアップ。さらに燃費の面でも大きな効果を発揮する。GT車は185/70HR14 シェランも注文装備。フットワークを完璧に仕上げています。精肉、アルホイール(185/70HR13、185/70SR14、185/70HR14)シェランのラジアルタイヤとそれぞれセットで設定。ラジアルタイヤの性能を十分に引き出すとともに、引き締まったデザインで、足元、スタイリッシュ。

全身、スポーツの装備だ。

走りへ徹した数々の新装備にご注目。
スポーツを名の車は、ここまで機能的でなければならない。



電動式サンルーフ(電動式)…明るく開放的な空気がカービートにはよく似合う。爽やかな光と風が存分に味わえる電動式サンルーフ。安全性を考慮して、閉る時には2つのボタンを同時に操作するセーフティロック式を採用した。T.P.O.に合わせて、楽しみ方は自由自在。



衝撃吸収式ウレタンホイール…軽い衝撃を内部のウレタンフォームが柔らかく吸収。ホイールアーチまで伸びた大型タイプ



時間調整式間欠ワイパー…雨の降る間欠調整できる。またワイズアップ式なので、停止時のブレードがウィンドウから離れ下がり、すっきりした視界が得られる。さらに全車セコシールドタイプで、空力特性も高めている。



サンシェード(高遮光)…ブラインド効果を発揮し、後部への直射日光をシャットアウト。シェードは水平で、後方視界も十分確保している。

スポーツの走りは閃光か。時代の最先端。エレクトロニクス・コクピット。

光が数字を、走り語る。パワーを伝える。先進のエレクトロニクス・ディスプレイメーター。[注]は説明書の「標準装備」。



PHOTO: 日産・800SE (V16) edition
(シート・ドア・センターコンソールはオプション。モニターAM/FMマルチ電子チューナー・ラジオとデジタルディスプレイメーターは追加装備。この写真は標準装備のものを撮影したものです。実際の車体は必ずしもこのようではありません。)

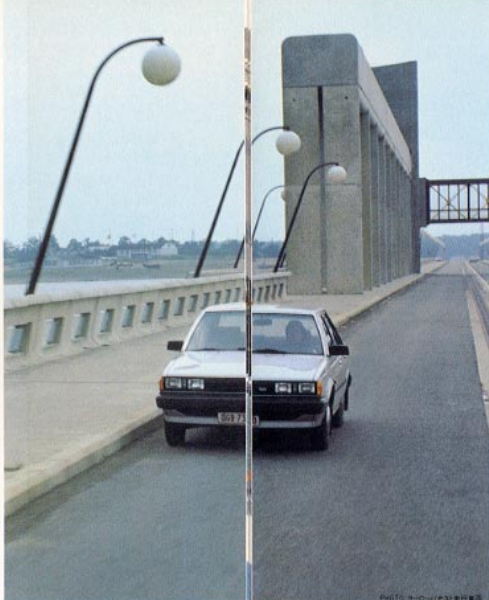
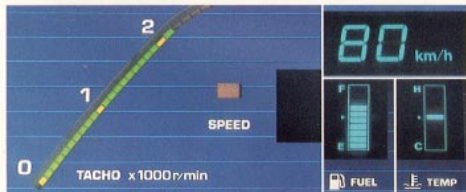


PHOTO: 日産・800SE (V16) edition



先進性の象徴、エレクトロニクス・ディスプレイメーター。スポーツとエレクトロニクスとの劇的出会い。正確なデータと瞬時の視認がスポーツの走りを変化させた。デジタル式スピードメーター。視認性に優れた高輝度型発光表示管を使用し、刻々と変化するスピードを的確に表示する。そして、エンジン回転とワウの高まりを一目で確認できるバーグラフ式タコメーター。常用回転域をワイ

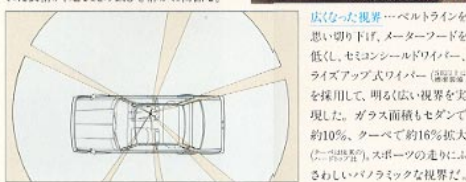
水温計は常用温度範囲を細かくセグメントした設計。ウォーミング類も斬新なアイデアを推している。いま、インパネに未来の閃光。**オートドライブ**。アクセルを踏まなくてもセットした車速を維持できるので、長時間定速走行するに便利。増速・減速も簡単操作。伸びやかな高速走行を存分に。



クローズドコンテナー。あらかじめインプットされた情報に基づき、目的地までの残走距離と到着推定時刻、残り燃料での走行可能距離など、長距離走行に欠かせない5項目を表示。合理的な走りを出出す。



さらに光美したアナログメーター。STILEはタコメーターに加え、ワイドトリップメーターも標準装備(※オプション)。目的に応じ、2個のトリップメーターをそれぞれ単独に使用できる。たとえば、一方を燃費計算用し、他方を1日の走行距離測定用あるいは目的毎までの走行距離測定用に、など使い分けられる。また、視認性に優れた指針式のフェューエルメーターを標準装備した。その洗練された表情が、走るこの歓びを静かに物語る。



パワーウィンドー運転席ドアのスイッチで4つの窓の意図開閉できる機構に加え、セダンにはロック機構も追加。スイッチひとつで全ドアをロック・アンロックできる電磁式ドアロックもこれとセットで設定した。電動リヤドアも標準装備。

広くなった視界。ペルトラインを思い切り下げ、メーターフードを低くし、セミコンシールドワイパー、ライズアップ式ワイパーを採用して、明るく広い視界を実現した。ガラス面積もセダンで約10%、クーペで約16%拡大(※標準装備)。スポーツの走りによるわいパノラミックな視界だ。

シャープなボデーにして、ワイドなキャビン。リラックスは、スポーツの基本だ。

リラックススペースに必要なものは、すべて用意した。ゆとり広さもオーディオシステム、快適な空調、スポーツの空気。



十分な居住スペースの創造。エンジンのコンパクト化、トレッドの拡大によって、居住スペースを極限まで広げた。室内幅はセダンSTで35mm、クーペで40mm、室内長もそれぞれ+115mm、+100mm(※標準装備)。室内高は+5mm(※標準装備)も拡大。リヤレッグスペースも余裕広がり、居住性は一挙に向上。さらに乗降性も改善。この室内は、スポーツの開放感そのものだ。

センサーが室温、外気温、日射の強さを感じ、自動的に室温をコントロール。煩わしい操作なしに、常に最適空調を実現してくれる。

AM/FMマルチ電子チューナーラジオ。フェーダータッチでワンタッチ選局。AM/FMそれぞれ5局のプリセットができる。さらに5スピーカーシステムも装備。低音専用ウーハー(※オプション)のダイナミックな低音と前後2個ずつのスピーカーから飛び出すクリアな中高音。まさに、ライブ感覚だ。セダンのリヤクォーター長距離ツーリングやレジャードライブに備えて、大容量を確保。クーペのラジアルーム。個性派的なツールをたっぷり。7ウェイオーバーホール付。



サードスターリング。4段階に調節でき、体格に合わせて最適なライディングポジションが選べる。



電動リヤモニター。インパネのスイッチで左右のファンダラーを自由調節。ロック機構も追加し、使用性を高めている。



デジタルウォッチ。昼夜問わず、予知や一瞥表示方式。水晶発振式なので誤差が少ない。また、正時合わせも簡単です。



PHOTO: 日産・800SE (V16) edition (4-ドアタイプ)



SEDAN



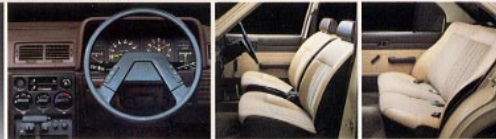
SE-Extra Edition/SE 1800



ST 1500 1800EFI



SG 1500 1800



DX 1500



STD 1500



COUPE



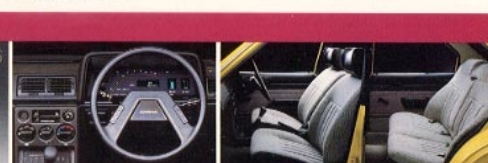
SE-Extra Edition/SE 1800EFI



ST 1500 1800EFI



SG 1500 1800



SEDAN 1600・2000DOHC-EFI



COUPE 1600・2000DOHC-EFI

